

# 口腔の役割

## 唇のはなし

鼻の下の端の両側には「ほうれい線」といわれる溝があります。中国の人相学の法令紋に由来するようですが、鼻から唇へ溝が走るため、正式にはこの溝は「鼻唇溝(びしんこう)」と呼ばれます。「上唇(じょうしん)」とは鼻の下の鼻唇溝から内側のすべての部分を指します。ですから正確に言うと、男性のヒゲは「唇から生えている」こととなります。そして鼻唇溝の外側が「頬(ほほ)」となります。

一方、「下唇(かしのん)」ですが、下顎の中央には骨の高まりがあり、このあたりを「オトガイ」と呼び、この上に「オトガイ唇溝(しんこう)」という横に走る溝があります。したがってこの溝から上が下唇ということになります。

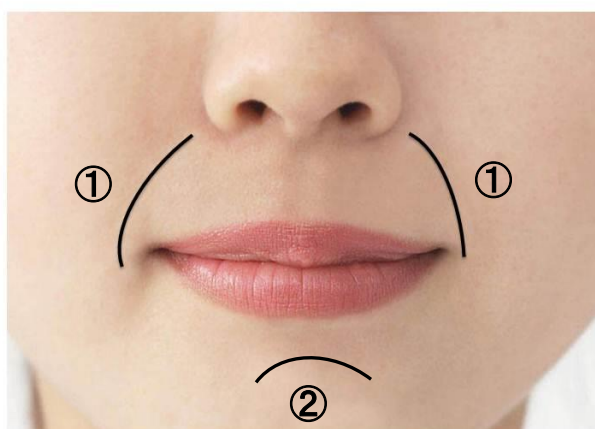
唇の働きは

- ❖ しっかり閉じて、食物や水が口から漏れないようにし、嚥下(えんげ)を助ける
- ❖ 頬と協力して食物を歯の上にのせて、噛みやすくする
- ❖ 熱いもの、冷たいものの温度を敏感に感じ取る
- ❖ 顔の表情を作る
- ❖ 形を変えて発音を助ける

などであり、唇からは実に膨大な情報が脳に送られることがわかります。

一般に唇とされている赤い部分は「赤唇(せきしん)」と呼ばれ、唇の一部分にしかすぎません。赤唇の表面は非常に薄く、またメラニン色素がないため、毛細血管の血液が透けて見えるので赤くなっているのです。貧血や温度変化で赤みがなくなるのはそのためです。

「いのち短し 恋せよ乙女 紅き唇 あせぬまに」( Gondra no Uta 1915年)で唄われるのはまさに「赤唇」のことですが、これは恋に限らず、「若い時代はあつという間に過ぎるのだから、のんびりせず、いろいろなことを経験しなさい。」という「赤唇」を利用した比喩表現としても使われていたようです。



①鼻唇溝 と ②オトガイ唇溝

【歯科口腔外科診療部長 今井 正之】

